

事務事業名	環境美化推進事業	事業期間	1997 ~	年度	係内番号	08
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

政策 番号	03	基本計画①	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高							
		基本計画②	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進									
		実行計画	02	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	0101	住民・事業者・行政の役割の明確化と実行									
		項目		計画CD	計画名称	施策の柱CD			施策の柱の名称						
予 算 事 業 名		環境美化推進事業費			会計コード	01	款	04	項	02	目	03	事業	01	
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)		平成8年に設立された実践する提言団体の美サイクル茅野は、茅野市の環境美化活動及び環境教育の推進と循環型社会の実現に向けて、生活環境における課題別に部会を設けて課題解決の活動を進めている。特に、環境教育として具体的に環境副読本や手作り環境絵本を作成し配布している。本年は20周年を迎え、可燃ごみの減量の一環として、紙類の分別の徹底に取り組む予定である。													
現状と背景 (どうして)		美サイクル茅野は、パートナーシップのまちづくりの生活環境の分野を担う団体として、ごみ減量とリサイクル活動の効率的推進や景観形成のあり方の提言を行い、その提言を具現化し、実践する活動を進めている。													
目 的 的	受益者 (誰のために)	市民													
	対象 (直接働きかける)	同上													
	意 図 (どんな状態にしたいか)	ごみ減量やリサイクルの推進のための意識の高揚と環境美化活動への参加並びに、環境教育への協力													
手 段 ・ 方 法	手段・方法 (どうやって)		美サイクル茅野活動支援												
	行政が活動することで作り出すもの														
評 価 指 標 の 作 成	活動 指 標	1	環境展の開催	環境展の開催回数	回	環境展の年間開催回数	1								
		2													
		3													
	変更履歴														
成 果 指 標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
	1	環境展の来場者数	環境展来場者数	人	環境展の来場者数	1,000									
	2														
	変更履歴														

実 施 状 況 （ D O ） 考	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	事業費等(a)	円	5,347,789	4,714,477	3,757,000			
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円	5,347,789	4,714,477	3,757,000			
	活動 指 標	環境展の開催回数	目標	回	1	1		
			実績		1	1		
			達成率	%	100.00	100.00	-	-
	-	-	目標					
			実績					
			達成率	%	-	-	-	-
	-	-	目標					
実績								
達成率			%	-	-	-	-	
成 果 指 標	環境展来場者数	目標	人	1,000	1,000	1,000		
		実績		800	800			
		達成率	%	80.00	80.00	-	-	
		目標						
-	-	実績						
		達成率	%	-	-	-	-	
備 考								

事務事業名	環境美化推進事業	事業期間	1997 ~	年度	係内番号	08
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	変果動指要標因分	析	持続可能な循環型社会に向けてごみ減量、3R活動、環境美化活動、環境学習など今後も公民協働の取り組みが必要である。	同左		
価値	成果	美サイクル茅野が行う活動により、市民のごみ減量の意識が高まることが期待される。年1回環境展を開催することにより、市民の環境に対する意識が向上することが期待される。	同左			
	課題	美サイクル茅野への新規会員の加入促進を図る。環境展の来場者数を増やす。	同左			
改革	成果	現状維持	現状維持			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性	改善の方向性の内容	美サイクル茅野の新規会員を増やし活動を継続する。市民団体との協働により、市民のごみ減量に対する意識向上のための効果的な施策が推進できる。可燃ごみを減量するために新しい取り組みを実施する。	美サイクル茅野の新規会員を増やし活動を継続する。市民団体との協働により、市民のごみ減量に対する意識向上のための効果的な施策が推進できる。可燃ごみを減量するために新しい取り組みを実施する。			
作成担当者	金井和人	金井和人				
最終評価責任者	保科慎一	伊東一英				
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日				

事務事業名	環境自治会活動支援事業	事業期間	2008 ~	年度	係内番号	07
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

政策番号	03	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進		
			基本計画②	01	環境基本計画	0601	連携・協働による取組の推進		
			実行計画	02	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	0101	住民・事業者・行政の役割の明確化と実行		

予算事業名	環境自治会活動支援事業費	会計コード	01	款	04	項	01	目	05	事業	02
-------	--------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

**事務事業の概要**  
 (簡潔にわかりやすく)  
 生活衛生、環境美化活動の活動団体である茅野市環境自治会の活動に対し負担金の交付、及び清掃活動による土砂処理を支援する。

**現状と背景**  
 (どうして)  
 各支部（区単位）、各地区（地区単位）からなる環境自治会はその地域の生活衛生や環境美化活動を実施している。戦後は衛生環境の向上のため、全市的に取り組む必要があったが、現在では環境美化活動も加わっている。その活動補助として会議運営費、清掃活動費等を補助する必要がある。又、清掃活動による土砂の処理が出来ない行政区があるため、対応が必要である。

**目的**

受益者 (誰のために)	地域住民
対象 (直接働きかける)	環境自治会
意図 (どんな状態にしたいか)	市から環境自治会へ負担金を交付することによって環境美化活動を推進してもらい、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。

**手段・方法**  
 (どうやって)  
 ・各地区コミュニティ運営協議会及び茅野市環境自治会連合会へ交付  
 ・残土処分場を持つ隣富興業との委託契約により処分場を確保する。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	一斉清掃による全市的な環境美化活動	実施回数	回	一斉清掃・クリーンウォーク・アダプトプログラムの実施回数
2	土砂処分場の確保	土砂処分場の確保	箇所	土砂処分場の確保	1	
3						
変更履歴						
成果指標	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	年間一斉清掃参加人数	年間総参加人数	人	一斉清掃+クリーンウォーク+アダプトプログラム参加人数
2						
変更履歴						

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	財源内訳	事業費等(a)	円	5,957,907	5,873,858	6,064,000	
国庫支出金		円					
県支出金		円					
地方債		円					
その他特定財源		円					
	一般財源	円	5,957,907	5,873,858	6,064,000		
活動指標	実施回数	目標	回	3	3	3	
		実績	回	3	3		
	達成率	%	100.00	100.00	-	-	
	土砂処分場の確保	目標	箇所	1	1	1	
		実績	箇所	1	1		
	達成率	%	100.00	100.00	-	-	
-	目標	-					
	実績	-					
達成率	%	-	-	-	-		
成果指標	年間総参加人数	目標	人	20,000	20,000	20,000	
		実績	人	13,636	16,186		
	達成率	%	68.18	80.93	-	-	
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	環境自治会活動支援事業		事業期間	2008	～	年度	係内番号	07
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係			連絡先	380	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	～成果動指要標因分～析		年に3回実施している市内クリーンウォーク、上川アダプトプログラムや各区・自治会が行う一斉清掃、また、可燃ごみステーションの管理や資源物リサイクルステーションの設置等を環境自治会が行うことで、市民の環境に対する意識向上に繋がっている。	同左		
価値	成果	地区・区・自治会が清掃活動を行うことにより環境美化に対する市民の意識向上に繋がっている。継続して環境自治会が活動を実施することにより、市内の美化を推進することができる。	同左			
	課題	一斉清掃等の参加人数が目標に達していない状況であり、参加人数を増やすことが課題となっている。	同左			
改革	成果	現状維持	現状維持			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性	内容及び改善の方向性	各コミュニティ運営協議会を経由して、年度始期に負担金を交付している。平成20年度から環境自治会の補助及び委託事業を一本化したことにより、地域特有の問題に対応できる体制となっている。地域組織の協力を得て事業実施しており、市や営利団体等へ依頼するよりもはるかに低価格で実施できており、今後も継続していくことが望ましい。地区コミュニティでの参加実施を働きかけ、総参加人数を達成するように働きかける。	各コミュニティ運営協議会を経由して、年度始期に負担金を交付している。地域特有の問題に対応できる体制となっている。地域組織の協力を得て事業実施しており、市や営利団体等へ依頼するよりもはるかに低価格で実施できており、今後も継続していくことが望ましい。地区コミュニティでの参加実施を働きかけ、総参加人数を達成するように働きかける。			
作成担当者	金井和人	金井和人				
最終評価責任者	保科慎一	伊東一英				
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日				